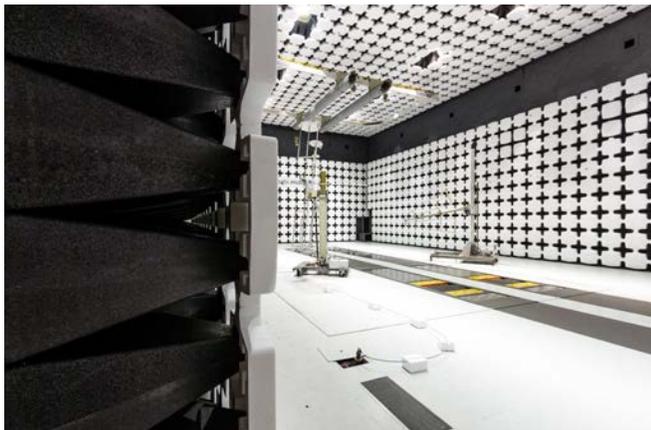


EMC用電波吸収体 DURASORB™ポリスチレン製ハイブリッド電波吸収体



MODEL DSH-600H

- 対応周波数 30 MHz - 40 GHz
- MIL-STD-461, ANSI C63.4, CISPR 16並びにCISPR 25規格対応
- 堅牢な構造と精密なインストールを配慮したデザイン
- 非吸湿性及び難燃性

ETS-LindgrenのDuraSorb DSH-600Hは、ロープロファイルなハイブリッド電波暗室用電波吸収体の最新進化形です。PSシリーズ電波吸収体の物理的プロパティに実証済みのFerroSorbパフォーマンズのアドバンテージを組み合わせています。DuraSorbは、硬質な独立気泡フォームを含んだ基質を使用した構造で、全体に容量均一にカーボンロードされています。DSH-600Hは、3mや5mレンジの電波暗室用として最適です。

DSH-600Hは、自由空間インピーダンスから損失性のあるフェライトタイルベースまで、スムーズな移行を提供します。その最適な設計の結果、低周波域から1GHzを超える高周波域の両者において、高性能が保証されます。60 MHzから3 GHzでは17dB以上、4GHz以上では20dB以上の反射特性を有しています。8 GHzを超えると35 dB以上の反射特性を有します。

この吸収レベルによって、DuraSorbは、3mや5mレンジの半無響電波暗室をCISPR16やANSI C63.4規格の測定に適するようにする最適な電波吸収体となります。また、MIL-STD-461やCISPR25にも適合可能です。

DuraSorbは、必要な性能を作り出すために、あらかじめ決められた幾何学的形状の型に、均一にロードされた損失性素材を注入することにより製造されます。軽量の基質が型どられた後、出荷ボリュームを抑えるため分解された形でジョブサイトに届けられます。現場で容易に組み立てられ、完成した電波吸収体は、軽量のポリスチレン製ユニバーサルマウンティングベースに押し込まれ、接着され、電波暗室の壁や天井に貼り付けられます。この方法により、電波吸収体を幾何学的に精密に配置することが可能になります。

DuraSorbは、独立気泡設計のため、本質的に非吸湿性です。さらに、DuraSorbは、傑出した難燃性を有するように設計されています。さらにその素材は、通常の建設用グレードの発泡体よりも環境に配慮した難燃剤として取り扱われています。DuraSorbの素材は、EN 11925-2, UL 94-HBF, DIN 4102-B2やEN 13501-1 Class Eの要求事項に適合するようテストされています。

標準構成

- DuraSorbポリスチレン製電波吸収体
- PS-1001ポリスチレン製ユニバーサルマウンティングベース
- フェライト基材
- ポリスチレン製ホワイトキャップ

EMC用電波吸収体 DURASORB™ポリスチレン製ハイブリッド電波吸収体



DuraSorb DSH-600HIは、デュアルピラミッドデザインです。(ポリスチレン製ホワイトキャップを取り外した場合)

技術仕様

電氣的仕様	
周波数	30 MHz - 40 GHz
パワーハンドリング	200 W/m
	106 W/m ²
	0.068 W/in ²
物理的仕様	
高さ ¹	60.0 cm
	23.6 in
幅	60.0 cm
	23.6 in
奥行	60.0 cm
	23.6 in
重量 ²	2.7 kg
	6.0 lbs
火災規格	
試験規格	EN 11925-2 UL 94-HBF DIN 4102-B2 EN 13501-1 Class E

¹ フェライトタイルベースを含む

² 標準重量、フェライトタイルベースを除く

DSH-600H
反射特性代表例

